

令和5年6月1日

山梨県知事 殿

申請者 住 所 山梨県甲府市〇〇町111007アパート1111号
氏 名 山梨 太郎 印

山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金支給対象者認定申請書

支給対象者の認定を受けたいので、山梨県ものづくり人材就業支援事業費補助金交付要綱第6条第1項の規定により関係書類を添えて申請します。

記

私は、大学等を卒業する日以後直近の4月初日（既卒者にあつては第6条に規定する認定申請日の属する年度の翌年度の4月初日）を起点とした10年間のうち8年間以上、山梨県内の対象業種企業に勤務し、かつ県内に定住する見込みです。

はい・いいえ ※該当にマル（○）をしてください

申請者	住 所	〒111-1111 山梨県甲府市〇〇町111 〇〇アパート111号		
	(ふりがな)氏 名	やまなし たろう 山梨 太郎		
	生年月日	平成13年 5月 1日		
	電話番号	090-1111-1111 <small>※必ず本人に繋がる電話番号を記載すること</small>		
(申込日現在)修学状況	名 称	〇〇 高等専門学校 〇〇 大学 工 学部 工 学科 大学院 研究科 専攻		
	所在地	〒222-2222 山梨県甲府市〇〇町222		
	在籍学年	4年 <small>※既卒者の場合は「既卒」と記載</small>	卒業（予定）	令和6年 3月
	通学形態	自宅通学期間： 年 月 日～ 年 月 日 自宅外通学期間： 令和2年4月1日～令和6年3月31日		
奨学金	名 称	独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金	独立行政法人日本学生支援機構第二種奨学金	
	金 額	51,000円/月 (総額1,224,000円) <small>※新たに貸付を希望する者は希望額を記載。 ※卒業前2年間の貸与額を記載。</small>	円/月 (総額 円) <small>※新たに貸付を希望する者は希望額を記載。 ※卒業前2年間の貸与額を記載。</small>	
	貸与期間	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日	年 月 日～ 年 月 日	

※添付書類

- (1) 履歴書（様式第2号）
- (2) 応募理由書（様式第3号）
- (3) 大学生等は奨学金の借り入れを証する書類
- (4) 既卒者は奨学金の返還を証するもの
- (5) 成績証明書
- (6) 県外企業に在職していることが分かる書類（既卒者のうち、県外企業に就業している者のみ）
- (7) 会社都合で離職したことが分かる書類（既卒者のうち、会社都合により県内企業を離職した者のみ）
- (8) その他知事が必要と認める書類

履 歴 書

令和5年 6月 1日現在

ふりがな やまなし たろう 氏 名 山梨 太郎		写真をはる位置 1. 縦 40mm 横 30mm 2. 本人単身 胸から上 3. 裏面のり づけ
平成13年 5月 1日生（満 22歳）	※ <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	
ふりがな やまなしけん こうふし 〇〇まち 現住所 〒111-1111 山梨県甲府市〇〇町111〇〇アパート111号		電話 (携帯) 090-1111-1111 (固定)
ふりがな 連絡先 〒		電話 (携帯) 055-111-1111 (固定)
(現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)		

年	月	学歴・職歴（中学校卒業以後の経歴を記載）
平成29年	3月	山梨県立 甲府市立 〇〇中学校 卒業
平成29年	4月	山梨県立 〇〇高等学校 入学
令和2年	3月	山梨県立 〇〇高等学校 卒業
令和2年	4月	〇〇大学 工学部 工学科 入学
令和6年	3月	〇〇大学 工学部 工学科 卒業見込

得意科目・専攻科目 精密工学	健康状態 良好
--------------------------	-------------------

メールアドレス（本人）：111@〇〇.〇〇.jp

（ふりがな） やまなし いちろう 保護者氏名 山梨 一郎	
住 所 〒333-3333 山梨県〇〇郡〇〇町〇〇333	
メールアドレス：333@〇〇.〇〇.jp	電話番号
企業情報等の提供： 希望する ・ <input checked="" type="radio"/> 希望しない ※	090-3333-3333

記入上の注意

- 鉛筆以外の黒又は青の筆記具で記入。
- 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。
- ※印のところは、該当するものを○で囲む。
- メールアドレスは県から情報提供等を行うためのみ使用します。

応募理由書

1 応募の動機

私は、学んできた〇〇専門分野で山梨県の産業を盛り上げていきたいとの思いから応募しました。

〇〇〇
.
〇〇〇

2 専門分野及び研究内容（既卒者は、在職中の業務経験についても記載）

私は、学んできた〇〇専門分野で〇〇の研究を行っています。

〇〇〇
.
〇〇〇

3 将来活躍したい産業分野

私は、学んできた〇〇専門分野で開発を行える〇〇関連の産業分野で活躍してみたいと考えます。

〇〇〇
.
〇〇〇